

親子で自然を満喫

子育て ネット 盛岡の森で遊び楽しむ

自然の中で親子でさまざまな遊びを体験するパパとキッズの森あそびクラブ（いわて子育てネット主催）が19日、盛岡市高松の毛無森で行われた。親子4組12人が参加。森林インストラクターの川村晃寛さんを講師に、普段なかなか体験できない自然を生かした遊びを満喫した。

真夏でも毛無森の中に一歩踏み入れると、木陰は気温も涼しく、鳥の鳴き声なども聞こえる別世界。歩き始めると、すぐに子どもたちはセミの抜け殻、ドングリなど森の宝物を発見した。森の中には手を触れるとかゆくなるツタウルシなどもあり、参加者は特徴がある。木の葉を覚えた。

大きな木にロープをかけて作ったブランコも体験した。公園の遊具とは違い、木の枝が揺れたり、木々の間を縫うようにこぐスリルのあるブランコに子どもも親も夢中になって何度も挑戦していた。父親たちは、川村さんの指導でブランコを作るためのロープの結び方も学んだ。

同市から参加した平舘啓太ちゃん（5）は「公園のブランコは鉄だけど、きょうは木のブランコでちよつと怖かった。風がビュービューと鳴って楽しかった」と初めて乗った木のブランコに大興奮。父親の浩さん（44）は「子どもの頃はツタを使ってターザンごっこをやったりした。久しぶりに幼少の頃を思い出した。身近にこんなところがあるのは知らなかったが、子どもがはしゃいでいるのを見るとまた来たいと思

う」と話した。栗石町から参加した浅井亨春ちゃん（4）は「キリギリスを見つけたり、虫を捕るのが面白かった。木のブランコにもまた乗ってみたい」と森の楽しさを実感。母親の十至枝さん（43）も「私もレンゲ畑で花の冠を作ったり、基地を作ったり、探検したりした。普段から結構外に遊びに連れていくようにはしていないが、公園などとは違うイリアルな森遊びは自然から教わることも多い」と森の中の親子での遊びを楽しんだ。



森の中で木のブランコを楽しむ親子

いわて子育てネットの西川いずみ副理事長は「外で遊ぶ経験のない親も多く、どうしても室内での遊びが多くなってしまう。子どもはあれができるようになった、これができるようになったと遊びのよつになつたと遊びの中で成長する。なかなか子どもだけで外で遊ばせられない時代になつたが、森や自然の中で、親子で遊ぶきっかけになつてくれれば」と期待を込めた。